

れきはく NEWS

vol.62
2025.AUG

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 れきはく通信／れきはくバックヤードツアー
- 3 学芸員が語る！ミュージアム講座
- 4 サテライトギャラリー（出張展示場）始めました！
- 5 古代文化センター通信／学芸員通信
- 6 アテンダント通信
- 7 アテンダント通信／KITTE大阪でPRイベントを開催しました
- 8 イベントのお知らせ

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

荒神谷青銅器発見40周年

荒神谷遺跡(出雲市斐川町) 銅鐙・銅矛出土状況



体験水田で田植えをしました

古代出雲歴史博物館では、毎年、体験水田で古代米（赤米）を栽培しています。今年も、ふるさと学習の一環として、6月20日（金）に出雲農林高校植物科学科2・3年生のみなさんが、たいしゃ保育園の園児と一緒に田植え体験を行いました。

初夏の暑さの中、高校生が“ばばひき”という農具で、水田に植え付けの目印となる線を書く場面では、園児たちから「がんばれー」の応援があり、暑い中でしたが笑顔で作業を行うことができました。その後、全員で水田に入り、高校生が園児に声を掛けながら和気あいあいと田植えをしていました。

現在は、機械化が進み、手作業で田植えをすることは少ないのではないのでしょうか。古代の人々がどうやって米作りをしていたか、楽しみながら体験できたと思います。

秋には、石包丁や足踏み脱穀機などを使って稲刈り・脱穀の体験をする予定です。



令和7年5月18日は
国際博物館の日

れきはくバックヤードツアー

はくぶつかんのウラ側
探検の旅

毎年5月18日は、博物館が社会に果たす役割を広くアピールし、多くの皆様に博物館に親しんでいただく「国際博物館の日」です。

この日にちなみ、当館では博物館の裏側を特別に見学することができるバックヤードツアーを開催しました。

ツアーでは学芸員による解説のもと、保存修復室や、くん蒸室、収蔵庫などの見学を行いました。「休館中の博物館ではど



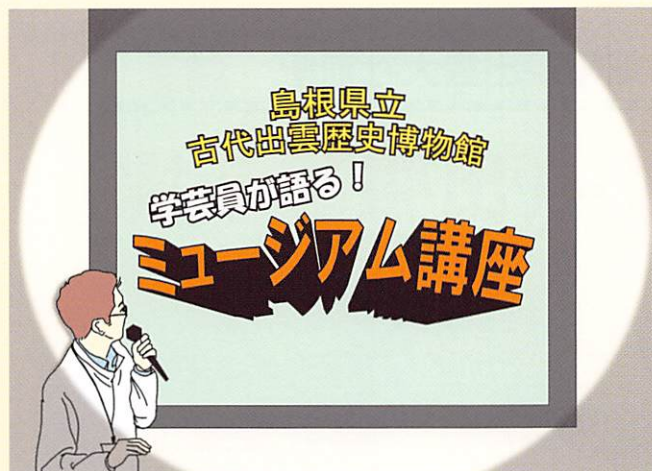
保存修復室での見学の様子



トラックヤード前のエレベーターに乗る参加者

んなことをしているの？」と疑問に思う方がいらっしゃるかもしれませんが、文化財の修復や、文化財を虫害やカビなどから守るための処理・保管を行っています。博物館はただ貴重な文化財を展示するだけでなく、守り残していくための場所であり、その中心となる場所が博物館のバックヤードなのです。

エレベーターはトラックで運んできた文化財の積み下ろし・積み込みに使用します。
最大積載量はなんと2トン！どんな大きな文化財も乗せることが可能です。



当館の学芸員が、島根県の歴史・文化についてわかりやすく解説する月1回の連続講座です。

現在、9月～11月までの講座の受講者を募集しています。初心者の方でもお楽しみいただける内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

開催日 令和7年6月以降の第2日曜日

定員 各回60名 **時間** 10:00～11:30

申し込み 電話またはホームページのイベント参加フォーム(しまね電子申請)でお申し込みください。

【申し込み先】 TEL.0853-53-8600
<https://www.izm.ed.jp>



受講者募集中

第4回 出雲国風土記からわかる地域の歴史
 9月14日(日) 学芸員 田中昇一

奈良時代に成立した『出雲国風土記』には、国引き神話をはじめとした神話・伝承だけでなく、地域社会の実態に即した内容が豊富に含まれています。当館周辺の地域がどのように記述されているのかを歴史的に読み解いてみます。

第5回 古墳が終わる時—出雲地域の終末期古墳—
 10月12日(日) 主任学芸員 小田七奈

古墳時代の終わりから飛鳥時代にかけて作られた古墳を、「終末期古墳」といいます。ところで、古墳はどのようにして造られなくなるのでしょうか？当時の時代背景と出雲地域の終末期古墳をご紹介します。その様相を探っていきます。

第6回 石見の侍(さむらい)・中世益田氏のあゆみ
 11月9日(日) 学芸情報課長 目次謙一

益田氏は関ヶ原の戦いまでの長い間、石見国の有力な武士でした。対外交渉で貴重なものを得る経済力と、各地の武士たちを束ねる政治力を備えた益田氏の歴史をたどり、その特色を明らかにします。

今後の開催スケジュール

第7回 隠岐の戦国時代
 12月14日(日) 専門学芸員 倉恒康一

第8回 安来市富田城下町を考える
 —発掘調査の成果から—
 1月11日(日) 学芸部長 守岡正司

第9回 日本三大そば・出雲そばの歴史と、
 将軍家への献上品
 2月8日(日) 専門学芸員 岡 宏三

第10回 県外に伝わった石見神楽
 3月8日(日) 専門学芸員 藤原宏夫

これまでの受講者からの声を紹介！



第2回「飾り大刀・馬具と古墳時代の首長たち」の様子



話が面白く楽しかったです。
 あと30分位あってもよかった。
 (松江市在住:50代)

友人に誘われあまり興味を持たずに参加しましたが、講義が大変面白くて興味が深まった。
 (出雲市在住:70代)



学芸員さんの専門的な話を分かりやすく聞けるのは魅力的。目標は全講座コンプリート！
 (米子市在住:50代)

古代出雲歴史博物館 in 一畑電車出雲大社前駅



サテライトギャラリー(出張展示場) 始めました!



こうじんだに
現在、荒神谷遺跡出土の
どうたく どうはこ どうけん
銅鐸・銅矛・銅剣(レプリカ)展示中!

4月より一畑電車出雲大社前駅の構内において、当館のサテライトギャラリー(出張展示場)を開設しました!

当館が休館している間、サテライトギャラリーにおいて島根県の歴史・文化や当館のイベント、リニューアル情報を発信していきます。また、荒神谷遺跡から出土した国宝青銅器(レプリカ)も展示しており、どなたでもご覧いただけます。



駅の構内にあるので、
お出かけの時に気軽に
立ち寄ることができます♪
サテライトギャラリーでの
情報は随時更新してい
るので、お立ち寄りの際
はぜひチェックしてく
ださい!

◎ 新しい「テーマ研究」はじめました

島根県古代文化センターでは、島根の豊かな歴史文化についてさまざまな調査研究や情報発信を行っています。その主要な研究事業の1つに、「テーマ研究」というものがあります。これは3～4年をかけて1つのテーマについて調査研究を進めるもので、その成果は報告書の刊行や歴博の展示に活かされています。

令和7年度から、「出雲の密教とその造形表現の特質に関する研究」という新しいテーマ研究をはじめました。出雲は古くから神への信仰が盛んな土地として知られていますが、実は古代以来、仏教、特に密教(平安初期に空海・最澄が中国から持ち帰った当時最新の仏教)の信仰もまた盛んでした。そのことを示す文字資料はあまり多くはないのですが、出雲に数多く所在する密教の古寺と、そこに伝わっている仏像をはじめとした美術工芸品こそが、かつての仏教の流行を雄弁に物語っています。

古代中世の出雲に生きた人々にとって、密教はどのくらい重要だったのでしょうか。また、その営みの中で造ら

れた数々の仏像や工芸品は、どのような特質を持っているのでしょうか。これから約3年間、こうした「造形表現」をたよりに出雲の密教について考えを深め、ゆくゆくは歴博の展示で成果をお披露目する予定です。どうぞご期待ください。



仏教を中心としたテーマ研究は、「社寺参詣をめぐる多角的研究」(→平成20年「秘仏への旅」展)・「鰐淵寺を中心とする山陰密教寺院の研究」(→平成26年「鰐淵寺」展)に続いて3度目となります。

学芸員通信

『出雲国風土記』を書にする活動

令和6年度末から令和7年度にかけて、学校連携プログラムの一環として島根県立出雲高等学校の書道部との連携事業を行っています。当館展示室でもピックの一つとしている『出雲国風土記』を題材とした書道作品を制作するというものです。

この活動の背景には、兵庫県立歴史博物館が令和5年に開催した「『播磨国風土記』を書にする展」があります。兵庫県内の高校の書道部員に風土記の地名起源説話を書としてもらい、ロビー展示会を催すという企画でした。『出雲国風土記』が現存する島根県でも似たような取り組みができないかと考えていたところ、出雲高校の書道部が協力してくれることになり、当館でも「『出雲国風土記』を書にする活動」が始まりました。

昨年度末は、学芸員による計2回の出前講座を行ったほか、学外活動として当館の展示を観てもらうなど、『出雲国風土記』の基本を知ってもらう場を設けました。学芸員からの説明を終えた後も、風土記時代の地図を見ながら現在住んでいる場所やゆかりのある地域を熱心に探すみなさんの様子が印象的でした。

令和7年度からは部活動の時間を利用して本格的な作業に入っており、書道部のみなさんが自らの関心に基づいて選んだ写本、説話を元に、作品づくりが進められています。出来上がった書は、9月に開催される出雲高校の学園祭である「久徴祭」にて展示される予定です。

今後もこうした活動を通じて、子どもたちや若い方々に島根の歴史を知ってもらえるような取り組みを続けていければと考えております。

学芸情報課 田中昇一



作品制作の様子

アテナント通信

鳥取日帰り視察研修

鳥取方面へ日帰り視察研修に出掛けてきました。まずは3月にオープンしたばかりの鳥取県立美術館。貴重な美術品の数々は見応えがあり、また吹き抜けの館内は開放感のある過ごしやすい空間でした。スタッフの



方々の対応にも学ぶことが多くありました。私たちもリニューアルオープンの際、お客様に気持ちよく過ごしていただけるよう、歴博に来て良かったと感じていただけるように日々研鑽を重ねていきたいと気持ちを新たにしました。

次に訪れたのは、青谷かみじち史跡公園です。スタッフの方に展示の案内をしていただきました。青谷上寺地



愛あふれるガイドで弥生時代にタイムスリップしたような気分になり、当時の人々の生活に思いを馳せることができました。弥生人にもなりきってみましたよ。

石見銀山イベントに参加しました

7月、石見銀山世界遺産センターで開催された世界遺産登録を記念するイベントに、歴博からは「ぶっくりプラ板づくり」に参加しました。世界遺産登録18周年おめでとうございます！



アテナントミニイベントのお知らせ

毎月第3日曜日、しまね家庭の日に合わせてアテナントのミニイベントを開催しています。9月までのイベントでは、アテナントによる紙芝居とクイズ、銅剣パークラフト作りを楽しんでいただけます。10月からのミニイベントは内容を変えて開催しますので、どうぞお楽しみに！

9月21日(日) 10:00~15:00

10月19日(日) 10:00~15:00



児童クラブ出前ワークショップ

市内の児童クラブを対象としたアテナントの出前ワークショップを開催しています。夏休みの期間中、地域の子どもたちに歴博に親んでもらおうと、児童クラブに出掛けてアテナント手作りの紙芝居や展示品にちなんだ工作などを行っています。



風土記植物庭園調査チーム

新たに植物マップを作成するため、歴博の風土記の庭の植物を春から観察しています。以前からある植栽マップには名前があるものの年月を経て枯れてしまったのか見当たらなかったり、違う場所に生えていたり、日々頭を悩ませながら調査を続けています。庭園の植物たちを観察する中で、勢いよくスクスクと生長している植物を見かけると、心が躍ります。夏の盛りを前に、扇のような葉をいっぱいにひろげている「ヒオウギ」がその一つ(写真左)。このまま無事に育ってほしいという願い(エール)を込めて、これからも見守っていきたいと思います。



7月5日・6日に、KITTE大阪でPRイベントを開催しました



休館中より多くの方に歴博を知っていただくため、県外でのPRイベントを開催する予定です。その第一弾として、KITTE大阪でイベントを開催しました。

「青銅器の復元品に触れてみよう」のコーナーでは「意外に重い!」「きれい〜!」など「驚き」の声をたくさん聞くことができました。学芸員の解説を交えての体験で、お子様から大人の方まで幅広い年代

の方々に「島根ではたくさんの貴重な遺物が出土している」ということを知っていただき、興味を持っていただけたと思います。

ワークショップでは、特にトートバッグが人気で、個性あふれるたくさんの作品が誕生しました。和本風メモ帳ひも通し体験では、万博で神楽の公演をされたこともあってか、ヤマタノオロチの絵柄が大変人気でした。

ミュージアムショップでも、「藍染め」や「青銅器グッズ」をはじめとした当館ならではの商品を手に取り、楽しんでいただくことができました。

お立ち寄りいただきました皆さま、ありがとうございました。

次回は11月1日〜3日まで東京の日比谷しまね館でのイベントを予定しております。お近くの方はぜひお越しください。



イベントのお知らせ



ちょっぴり欠けた月と、神楽の舞と、こころばかりのおもてなし

れきはく 観月会

2025.10.5(日) 18:00~20:00

古代出雲歴史博物館『風土記の庭』

参加費＝無料【雨天中止】

古代出雲歴史博物館では、恒例の「れきはく観月会」を開催いたします。今年の「中秋の名月」は10月6日(月)なのですが、みなさまが参加しやすいように10月5日(日)に開催することにしました。今回の「れきはく観月会」も「出雲神楽」の上演と、好評をいただいている、お茶とお菓子のふるまいを行います。お茶とお菓子のふるまいは18時より、「出雲神楽」の上演は18時15分ごろより開始する予定です。



観月会のためにお菓子屋さんが作ってくれた「うさぎのお菓子」



昨年の「出雲神楽」上演

当日の日の入りは17時46分。月の出は16時41分。月は開始時間の18時には東南東の空、高度約15°あたりに顔を出しています。ちょっぴり欠けた月をバックにお茶とお菓子を召し上がりながら、「出雲神楽」の厳かな舞をお楽しみください。詳しくはチラシまたは当館ホームページをご覧ください。電話でのお問合せは古代出雲歴史博物館0853-53-8600までお願いいたします。

昨年の観月会の様子

れきはく

秋まつり2025

Autumn Festival 2025

2025年11月16日(日) 10:00~15:00

深まる秋のひとときを歴博で楽しく過ごそう！



屋台や大型遊具、その他楽しい企画で、みなさまのお越しをお待ちしております

出雲神楽の上演に
出雲太鼓の演奏



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600代 FAX.0853-53-5350
[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp
令和7(2025)年4月1日~令和8(2026)年9月(予定)の間、耐震改修工事等のため休館



マスコットキャラクター
出雲くん



発行/令和7年8月



マスコットキャラクター
出雲ちゃん